

1. 追求課題

筆者がいかにか切羽詰まった状況であるのかを「そいつのけそいつのけ」から読み取る

なぜ自分で助けたいのかを「言葉が通じないう雀の子に命令を繰り返すのだらう。」

2. 教材解釈

筆者が呼びかけている雀の子はまだ巢立って間もない。危険を感じて飛び去ることができないような様子だった。そこへ、位の高い人物が乗った馬が走ってくる。雀の子がいる場所まで間もなくであり、乗っている人物も雀をよけようとするような人物ではない。このままでは間違ひなく雀のいる場所を通過する＝雀が馬に蹴られることへの危機感を感じた筆者だが、馬のスピードと雀との距離・そして自分の身分から、助けられる状況ではな

く、雀の子への強い願いを「そいつのけそいつのけ」と必死に伝えている。「そいつ」は鳥が雀の子である認識をゆめゆめ筆者からは近い距離であり、馬の進行方向にあって、走っている馬があつて10秒もないうつらうに通過する場所である。

3. 授業の流れ

＜そいつのイメージを田舎く～音調かひひ＞

- ①馬の上の筆者がいて、雀はすくへ近へ。↓怒りながら言っている。
- ②雀の子は馬から少し離れた進行方向について、筆者はそれを馬の後ろ側から見ている。↓のなき言っている。
- ③筆者は雀の近くについて、そこから少し離れた所に馬がいる。↓あせって言っている。

＜初めのイメージの支持確認＞

☆「そいつのけ」と言っている人はそいつのけ。

- ・馬の横 4人 馬の上 2人 ↓ A馬をつれてる側 6人
- ・馬の前 7人 馬の後ろ 1人 ↓ B通行人 8人

「そいつのけそいつのけ」はどんな気持ちで言っているか。

- ・怒っている 5人
- ・のんき 1人
- ・焦っている 6人
- ・やばー！ー！（焦りがすくへ強い） 2人

＜筆者は馬をつれてくる側ではないから「そいつのけ」をきかせついでして追求課題「しなびるため、☆きぞらよって扱く

くA・Bそれぞれの立場で集まって自分たちの考えを出し合った後、全体で交流 Aの立場からく

○1「御馬が通る」ってこいつが偉そつちから横の人（そいつ）

○2偉そつち。でもそいつで偉そつちしたらやめなうで。パコパコやで。動物愛護団体に怒ひわなうで。（しんせ）

○3待って、先生もうちやつと詳く言ひなう。（しんせ）

↑↑↑↑↑よ。詳しくして。

○4えつち、「雀の子そいつのけそいつのけ」は通行人みたいにしてそつち、「御馬が通る」ってちやつと偉そつちを感じたから、雀のりも自分の馬の方が大きいから偉そつちするみたいな感じで、馬を連れてる人が言っているんかな

って。(うんね)

T2それは、「納得」とも「ちょっと違う」とも、みんなどうやって受け止めた？

C5おれ、全部反論できます。(うんせつ)

T3全部反論で受け止めたのがこうせいくん。他は？

C6え、けどさあ・・・まあまあ後で。(けんたろっ)

T4いろねちゃんと一緒の立場の人もうちょっと言いたいことあらへんの？あの、たぶんこのままだと、すごい反論がくるような気がするから、もうちょっと自分らの意見を「こうです」って出してもらったら・・・どうぞ。

C7あの、言ってるのは、横にいる人だけど、乗ってる人は武将みたいな感じだぶん偉いから、横にいる人が、馬と偉いさんが通るから、「雀みだいなやつ」みだいな感じだ言ってる。(たぐん)

C7二人いるってこと。(けんたろっ)

C8うちと一緒にの感じ。(いろね)

C9偉そうって感じ。(fensei)

C10はいはい。偉そうね。(あずみ)

T5じゃあ、馬自体が偉いとか、ここにもっと偉い人が乗ってるんだぞっていう・・・

C11その人が偉そう。(うんね)

C12ってことはさあ、そのお話をさあ、詩がなんかわざわざ書いてるってことは、それはただの武将の武勇伝なんじゃない？(うんせつ)

T6ええの？6人の人。まだ2人しか、あ、そうたくんも言ってくれたけど、あとの3人はもうええの？反論っていうか、こっちの立場受け付けていい？

C13えっと、侍さんが、偉いさんが、俺様・・・シャインみたいなことを言った。雀がどかへんからそれで怒った。(ゆんせ)

C14ちょっと待って、みんなちょっと違う。偉そうってだけで、偉いとは限ってない。(いろね)

C15せやな。だって後ろ荷車引いてるただの農民かもしれやん。(けんたろっ)

C16だからうちは、ただ単に人はどうでもいいねん。偉そうにしてるってことを主張したいの・・・いろね

C17でも、馬高いやる？(ゆんせ)

C18だからそういうことじゃないねん。うちは、言いたいのは、人は別にどうでもいいねん。その人が偉そうにしてるっていうのを主張したいの、「みんなが武将とか言うから、ちょっと話がずれてるねん。(いろね)

T76人の人の中でも違いがあるねんかな。たくとくんは、ここにはもうお偉いさんが乗ってるっていうイメージで偉い馬って思ってるけど、いろねちゃんは、そうじゃない、ただの態度が偉そうってことやな。この2人はどっちかって？

C19偉いさん。(ゆんせ)(ゆんせ)

T8たくとくんと一緒やな。

C20おれらも言いたい。(うんせつ)

C21どうぞ言っちゃってくだせう。(あずみ)

T9そろそろ立場変わって意見聞いてもいい？

C22質問。あのさあ、こうせいとか、そういう子(B)「、なおたち(A)じゃない人が言ってる時にさ、「でもか」とかか言ってもいい？」(なお)

T10「でもさあ」言い合うのは後からにしか。まず、自分達がさっき話し合いでこういう意見出しましたっていうのを言ってる。じゃあ、変わるよ。どうぞ。

C23まず言いたいのは、その偉そうっていうのは、偉そうなだけで、馬を連れてる側やったら、馬を止めればいいだけの話であって、わざわざ言う必要もないかなと思ってる、馬の横にいる人はもっとそうで、馬の上やったら、まだスピードがあるから止めにくいかもしれんけど、馬の横やったらただ歩いてるだけやん。止めること

なんか簡単やん。(111せえ)

○224 そっせいで、しんが歩きなすってりいよやん。(おんせ)

○225 それに、馬の上に偉い人が乗ってるとしては、じいちゃん言ひのはあややや、偉い人が「雀をのこしてやったぜ、ふんらん」みたいな、武勇伝みたらしなってるのはななか・・・(111せえ)

○226 歩きながら「やけ」って言うのは、歩いてるのって、たいてい「やけ」の「や」が「け」の意味なすってりいよやん。(111せえ)

○227 うんせう。雀一匹にそんな言ひの必要もなすかなってりいよ。(111せえ)

○228 やいよいよですが。(226せ)

○229 だから、馬を止めればいらさってだけの話なすです。(111せえ)

○30 連れてる側は馬を止めれるから、わざわざそんな言ひをなすってりいよやん。(おんせ)

T11 「のけ」って言わんと自分が止まればいいんやんかな。

○31 人で表したらん、横で歩いてるのには、車が来たらわざわざ止まらさす「やけ」の「や」って言うのは、一回つやん。(111せえ)

○32 ンん、思ったや・・・。(226せ)

○33 別にいらんぢやなす。(おんせ)

○ 近々の子回士で話が始まる

○34 付け足します。付け足してもいらさすってりいよやん。(111せえ)

T12 こうせいくんが聞かしてるけど、みんなどうでしょうか？

○35 言うていらんやん、乗って、雀は勝手に「やけ」の「や」ってりいよやん、たいていは、車に乗ってると、雀も勝手に飛んでくやん。あむと回して、あむと回して、馬来たら勝手に「やけ」の「や」ってりいよやん、それじゃなくて言うてるとしては、通行人が雀に親切に「やけ」の「や」の方を「や」みたら。(111せえ)

○34 え、やから優しく言うて。(おんせ)

○35 じいせいの(立場) 何やったって。(226せ)

○36 (馬の) 前の方。(おんせ)

○37 もじり(反論) 言うてもいらんやん、雀が言ったら勝手に逃げるから、「やけ」の「や」ってりいよやん、通行人だとして、「やけ」の「や」ってりいよやん、勝手に。(おんせ)

T13 ちょっと、もうそれぞれの意見について、「いやこれは違うと思っよ」って言うていい時間にします。

○38 え？これって正解ない？先生の中での考えはどっちですか？。(いろね)

T14 先生の考えを当てこタイズしてるわけじゃないから、自分達が納得感ある方を選ぶのが大切。

○39 聞きたい言うてるんやからいらんやん。(111せえ)

○40 上に乗ってる人の場合で、上に乗ってた、相当勢いしてるとして、歩いてるかもしれんけど。そしたら、走ってきたら、雀は「やけ」が言った車の現象と一緒に飛んでくと思っねんけど・・・(けんたろう)

○41 でもじゃあなあ、来る途中で飛んでいらんやん、「やけ」の「や」って言うわ入んやん。(いろね)

○42 それじゃ「やけ」(111せえ)

○43 御馬が来て・・・。(おんせ)

○ なんかかんやん(いろね) (けんたろう)

T15 まず、けんたろうくんの、最初から最後まで全部言いきってみて。

○44 こうせいが言ったみたいに、車が来たら普通に飛んでいくやんか。運転してる人、乗ってる人はそんな言う余裕もないし、下手したら声もそっちに届いてないかもしれないけど、横にいる人やったら、焦ってる場合やけど、勢いよく来てたらん、飛んでも飛んでも飛んでなくても、飛びさすでも飛んでなくても言ひやんやんやんやん「危ないぞー」「みないな感じで言わ入ん？」「けんたろう」

○45 んんでもこの人は言ったんかな。(おんせ)

この後、「普通雀は勝ちに飛んでいって」という意見を拾い上げ、出ているのは「雀の④」であるという注目した。

次の日の授業 支持確認 馬を連れてくる側 4人 通行人 10人

- ・普通「馬って言ったからいって」「何で「御馬」？」(じゅう)
- ・偉い人が乗ってるから。「武将」が通るでもさう。(じゅうせう)
- ・偉い人は自分が乗ってる馬は「御馬」と言わない。通行人の視点。(あすみ)
- ・もし偉い人が乗ってるなら、雀「ときには止まらない。(けんたろう)」
- ・わざわざ話を通じない雀「一匹に武将が言わない。だから武将が乗った馬が通る道に雀の子がいたってどうして通行人が併句した。(じゅうせう)
- ・雀が一匹やったら、のけて言わんでも、よければいい。(じゅう)
- ・何匹もいたら「子たち」と言っ。(あすみ)
- ・でも「そのけそのけ」「はお偉いさんみたいな言い方。(通行人なら)」「いた方がいっよ」と言っと思っ。(いるね)(ぬった)

・お偉いさんには家来がついてるから、本人は言わない。(あすみ・けんたろう・じゅう)

・「のけ」「いっしょ言葉は、お偉いさんだけが使う言葉じゃない。(あすみ・はるま・じゅう)

○御馬の「御」は偉い人の馬を指すが、「のけ」はそれで偉い人だということはできない。

筆者は小林一茶であり、武士ではない。

○いろねが言った「のいたほうがいいよ」と「のけ」の違いに触れる。

・優つて言っのと敵つて言っのと。(いるね)

○「のけ」は命令。どれぐらいの思いがこもっているか？

Aのいてくれないと人生が終わるレベル(のいてなかったら、自分が処刑される)(じゅうせい・あすみ)

B馬を連れてくる人がそこをのかないと邪魔と怒っている。(だへん)

C通行人が、雀が踏まれると思って焦っている。(ゆき)

Dそのままと大げがしたり、死んじやうかもしれないという大きな心配がある。(けんたろう)

○Aの意見について、処刑されるというのは雀の子？自分？と確認↓自分(筆者)

・それなら自分で助ければいい。(いるね)

次の日の授業

支持確認 A 2人 ・ B 4人 ・ C D 8人 (Bは馬を連れてくる側の意見)

＜今までの授業で出てきた課題をおかしくを確保＞

- ・なんで馬を自分で止めないの？
- ・なんで言葉の通じない雀の子「そのけ」や「いっしょ」
- ・何で自分で助けないの？

＜いっしょの課題をおかしくを確保＞「そのけ」や「いっしょ」状況「いっしょ」カードを黒板に貼しながら考えを説明

①祭りが何かで武将が通る「いっしょ」(馬は走って)(道の先「、雀の子がいて、筆者は手を伸ばしたら道に入らないうち」。「いっしょ」馬が来る「いっしょ」 「いっしょ」(じゅうせう)

②馬には人が乗って、結構速いスピードで来て、その道の先に雀がいる。人はさっきいっせいが示したよりも遠いところについて、走りながら雀の方に向かい、心配しながら言っ。(ゆき)

③偉い人が乗った馬が走って来て、その先にいる雀の子「馬の上かひのけのけ」言っ「いっしょ」言っ。(あお)

④偉い人が通るので、みんな道の両脇にのけてるけど、その道の先に雀の子がいて、偉い人が「はやくではやくでは」言っ。(あお)。筆者はそれを道路わきの群衆として見ていて併句した。(いるね)

⑥馬が走って行くので、筆者は馬に恐怖を覚えて助けには行けなけれど、近くにいる雀の子が心配だから声で伝えた。(正)たぶん()

変だおかしいをクリアできる位置関係や説明になっていたと思うが、それとて手を挙げてみる。(複数)(可)

- ① 4人 ② 1人 ③ 3人 ④ 7人 ⑤ 9人

学習を通して今自分が持っているイメージで音読

4. 自由分析・課題

C38のよつ、「教師の求めてくる正解を知ろうとする声が上がったため、自分がどちらかの立場にやっくらくなってしまうのは、今後の授業にも影響を与えかねないと思う、子ども発言の切り込めを遠慮するのはどうだろうか。C44の後、普通なら危険を感じて飛んでいくはずだから放っておけばいいの、」それができなうのはどんな鳥だから「馬に乗って走って行く人物が、地面にいる小さな鳥を雀の子と認識できる」という風にして、Aを切ったかったが、強引すぎないかと思えてきなかった。またその後の展開でも、Bの立場の意見が続き、そこからAを切ってきたかったが、「先生がいらないかと思ってるのが正解」と思われるようになってきたので、意識から、最後までAを切ることはできなかった。小林一茶の人物像を初めから伝えておけば、筆者は馬に乗って今武蔵ではないうつ前提で話さなければいけないかと思ってしまう。

あ、色々な視点から出てくる考えを取り上げるようにしてみようかな、明確なもののウツロイがなくてもいいかな、あ、色んな視点を話して進めようかな、進んでいきました。